

# YAMAU REPORT 2011

第54期 事業報告書

平成22年4月1日 ▶ 平成23年3月31日



明日の快適環境を  
目指して



株式会社



証券コード：5284

# ヤマウフィロソフィー

わが社は、事業活動を通じて社会に貢献することを使命とし、顧客の満足度を高め、会社の発展と社員の幸福を実現する。



代表取締役社長

権藤 勇夫

## 株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

当社第54期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

## ■営業のご報告

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新興国を中心とした世界経済の流れの中で企業収益に若干の回復の兆しが見られたものの、デフレの長期化及び厳しい雇用情勢の影響等により景気は予断を許さぬ状況が続いております。さらに、平成23年3月11日の東日本大震災による深刻な被害や、それに伴うサプライチェーンの障害並びに電力供給問題の影響が懸念される中、日本経済の先行きは一層不透明感を増しております。

当社の主要事業分野であるコンクリート製品製造・販売業界におきましても、前年度の補正予算による効果も薄れ、依然として続く建設業界の需給ギャップを背景に、同業者間の受注競争が激しさを増しており、業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような経営環境下で当社は、徹底したコスト削減及び生産性の向上に取り組み、受注強化を図って参りました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、135億41百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

利益面につきましては、営業利益3億71百万円（前年同期比48.3%減）、経常利益3億86百万円（前年同期比46.4%減）、当期純利益2億58百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、平成23年3月11日の東日本大震災に対する復旧・復興財源の問題などによる公共事業投資予算の削減、加えて、原材料価格の上昇懸念など引き続き予断を許さない厳しい状況で推移するものと認識しております。

このような状況にあって当社グループは、引き続き受注強化、生産性・採算性の向上を推進して参ります。又、顧客のニーズに対応した新商品・新技術・新工法の開発による需要の創造等に継続的に取り組み、利益確保に努めて参る所存であります。

## ■連結財務ハイライト

| 区 分                   | 平成19年度<br>第51期 | 平成20年度<br>第52期 | 平成21年度<br>第53期 | 平成22年度<br>第54期 |
|-----------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 売 上 高 (千円)            | 13,382,364     | 13,328,329     | 14,859,738     | 13,541,843     |
| 経 常 利 益 (△損失) (千円)    | 165,480        | △ 133,982      | 721,931        | 386,602        |
| 当 期 純 利 益 (△純損失) (千円) | 143,975        | △ 254,602      | 286,385        | 258,586        |
| 1株当たり当期純利益 (△純損失)     | 28円77銭         | △ 56円51銭       | 60円86銭         | 54円82銭         |
| 総 資 産 (千円)            | 11,022,702     | 9,949,907      | 10,545,258     | 9,931,326      |
| 純 資 産 (千円)            | 1,650,686      | 1,380,306      | 1,683,128      | 1,935,939      |
| 1株当たり純資産              | 229円94銭        | 169円09銭        | 230円89銭        | 285円90銭        |



## ■セグメント別営業のご報告

### ●コンクリート製品製造・販売事業

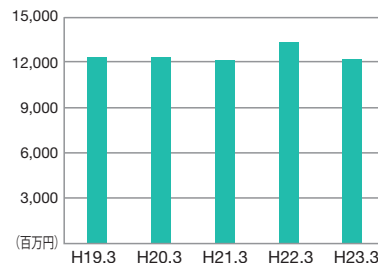
コンクリート製品製造・販売事業の売上は、土木製品・景観製品・レジンコンクリート製品の販売によるものであります。

当連結会計年度においては、建設投資の縮減傾向が続く状況下で、依然として当社を取り巻く外部環境は厳しい状況で推移しております。このような経営環境下、競争優位の強化を方針に掲げ、更なる受注拡大に努めた結果、売上高については、主力の土木製品群を中心として堅調に推移いたしました。

その結果、当連結会計年度においては、コンクリート製品製造・販売事業の売上高は129億45百万円、営業利益は3億55百万円となりました。

### 土木製品

道路、港湾、河川、上下水道、宅地開発、防災など、私たちの周りではさまざまな目的で開発事業が進められておりますが、今日の開発事業は環境への配慮を抜きには考えられなくなって参りました。土木部門では、「開発の基本は自然との共存である」という考えからさらに一歩進んで、「自然の姿を破壊せずに融合を図り、より自然に近い環境を創出する」ことを念頭においたコンセプトをもとに、国土を守り、環境を保全し、人々の快適な暮らしを支える製品を数多く生み出しています。



アセットマネジメント (大型ボックス) 佐賀県道山崎町切線



cv絆 薩摩川内市三堂川



ダム関連製品 大分県大山ダム

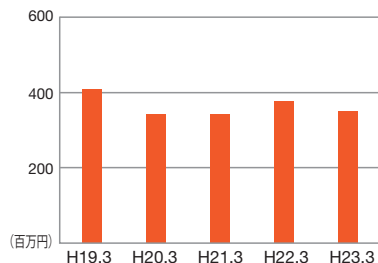


PGF 九州自動車道太宰府IC

## 景観製品

街や都市の公園、テーマパークやアーバンリゾートは、人々の心の伸びやかさ、感受性の豊かさを育むうえで必要不可欠のものです。緑地の花や樹木、自然の風景は人の心をなごませ潤いを与えます。

多彩な表情を持つヤマウの景観構成材は自然環境に広がりとお行きを与え、開放感やスケール感を損なうことなく美しい景観を演出します。



シェルター・テーブル・ベンチ



車止め



水飲み



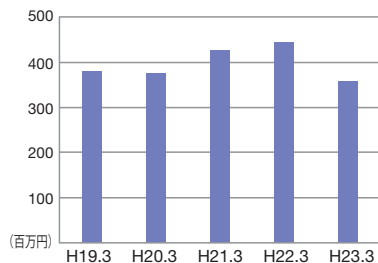
植樹ベンチ



デザイン縁石

## レジンコンクリート製品

レジンコンクリートは特殊樹脂をバインダーとして自然石を固化成形した人造石です。セメントコンクリートの3~4倍の機械的強度があり、耐摩耗性、耐薬品性、耐水性などにも優れ、美観とともに強度や耐久性の両面が必要とされる環境条件に最適な材料です。港湾、漁港の車止め、コーナー及び係船柱は塩害対策として利用されています。又、多彩な色彩表現及び優れた成形性によりアート感覚溢れる景観構成材としても幅広く利用されています。



外柵



カーストップ、係船柱



## 製品分類（コンクリート製品製造・販売事業）

### 土木製品

|        |  |
|--------|--|
| 河川製品類  | ケスタ、グリーンロック、ネクストーン、ポラボックス、げんじくん、かご舂、のり舂、がんちゃん、のぼるくん、とおりゃん瀬、CCブロック、eベース、テトラックPG、CV絆 |
| 擁壁類    | パワーロック、PAN WALL工法、多数アンカー、井桁ブロック  |
| L型擁壁類  | NNC、ハイタッチウォール、スーパークリフ、ガードクリフ、ノーマルクリフ、サンクウォール                                       |
| カルバート類 | ボックスカルバート、FAボックス、大型斜角カルバート、アーチカルバート、スパンザウォール、ボックスガレージ、可とうボックス                      |
| 管渠・暗渠類 | ライン側溝、サイドライン側溝、側溝カルバート、NJ境界集水溝、重圧管、横断暗渠  |
| 側溝類    | ピット側溝、リボン側溝、SF側溝、YCL側溝、トライポット用側溝、シントー側溝  |

### 景観製品

|             |  |
|-------------|--|
| 舗装材         | 洗い出し及び擬石による平板・縁石・階段・皿型、歩車道ブロック、植込舂、植樹舂 他     |
| ストリートファニチャー | 車止め、外柵、ベンチ、水飲み、プランター、ポール、パーゴラ、モニュメント、LED照明 他 |

|                |                               |
|----------------|-------------------------------|
| 道路製品類          | そうげん、プレガードII、PGF、SGF（仮設用防護柵）  |
| 水路類            | YT水路、三面水路、軽量三面水路              |
| 残存型枠・シートライニング  | ダクトアルフォーム、ダクトアルライニングパネル、ゆうパネル |
| 機能性コンクリート      | ダクトアル、ゼオガード（抗菌コンクリート）、ハレーサルト  |
| ダム関連製品         | 監査廊、エレベーターシャフト、高欄             |
| 貯留システム及びシントー製品 | アクアポンド、防火水槽、耐震性貯水槽、浸透側溝、浸透柵   |

### レジンコンクリート製品

YRG集水蓋（U型用蓋・側溝蓋）、カーストップ、メンテナンス床板（UPC階段）、fitサークル、フリーボーイ、誘導ブロック、係船柱、レジン多孔管、分岐部側板、レジンパネル 他

### 建築製品

ファインユニ（後付エレベーター昇降路）

## ●情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業

情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業の売上は、主に金融機関向け業務処理支援機器、貨幣処理機及びその周辺機器の販売並びにそれらの保守、LED照明の販売によるものであります。当連結会計年度においては、情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業の売上高は4億4百万円、営業利益は12百万円となりました。

## ●コンクリート構造物の点検・調査事業

コンクリート構造物の点検・調査事業の売上は、橋梁、トンネル等コンクリート構造物の点検・調査業務の請負、補修・補強設計業務の請負によるものであります。当連結会計年度においては、コンクリート構造物の点検・調査事業の売上高は1億91百万円、営業利益は4百万円となりました。

# ～ New Field's Product ～

## PCa ウィングウォール

### 現場打ちの **プレキャスト製品** 化

最近では、建設廃棄物の抑制など環境問題に関する意識の高まりと共に、コスト縮減や熟練工不足による省人化問題が叫ばれています。現場打ちのプレキャスト製品化は、コンクリート部材として工場で生産し現場に運び、構造物として組立てるため、従来の現場打ちで行っていた煩雑な配筋作業、型枠の組み立てや撤去作業が軽減され、省資源・省力化に貢献します。

ヤマウは、これらの諸問題の解決に向けて「現場打ちのプレキャスト製品化」を積極的に取り組んでいます。

#### 工費の縮減

工場生産品のため、鉄筋工および型枠工等の熟練工の作業員数が大幅に低減できます。

#### 工期の短縮

煩雑な配筋作業、型枠の組み立てや撤去作業が軽減され、短時間での施工が可能となります。

#### 安全性の向上（危険作業の減少）

従来の現場打ちに比べ、足場での高所作業が軽減され、安全、安心に施工できます。

#### 建設資材、廃材の抑制

施工現場での建設資材や廃材が軽減され、環境に優しいエコ工法です。

#### 高品質、安定供給

工場生産品により、高品質で均一な製品を安定供給できます。



1



2



3



## ■連結財務諸表（要旨）

### ●連結貸借対照表（平成23年3月31日現在） （単位：千円）

| 科 目           | 金 額       |
|---------------|-----------|
| 資 産 の 部       |           |
| 流 動 資 産       | 6,941,379 |
| 固 定 資 産       | 2,989,947 |
| 有形固定資産        | 2,626,447 |
| 無形固定資産        | 56,402    |
| 投資その他の資産      | 307,097   |
| 資 産 合 計       | 9,931,326 |
| 負 債 の 部       |           |
| 流 動 負 債       | 6,566,691 |
| 固 定 負 債       | 1,428,695 |
| 負 債 合 計       | 7,995,386 |
| 純 資 産 の 部     |           |
| 株 主 資 本       | 1,889,900 |
| 資本金           | 800,000   |
| 資本剰余金         | 300,000   |
| 利益剰余金         | 801,709   |
| 自己株式          | △ 11,809  |
| その他の包括利益累計額   | 9,232     |
| その他有価証券評価差額金  | 9,232     |
| 少数株主持分        | 36,807    |
| 純 資 産 合 計     | 1,935,939 |
| 負 債 純 資 産 合 計 | 9,931,326 |

### ●連結損益計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで） （単位：千円）

| 科 目          | 金 額        |
|--------------|------------|
| 売上高          | 13,541,843 |
| 売上原価         | 10,139,353 |
| 売上総利益        | 3,402,489  |
| 販売費及び一般管理費   | 3,030,906  |
| 営業利益         | 371,582    |
| 営業外収益        | 122,594    |
| 営業外費用        | 107,575    |
| 経常利益         | 386,602    |
| 特別利益         | 1,975      |
| 特別損失         | 100,426    |
| 税金等調整前当期純利益  | 288,151    |
| 法人税、住民税及び事業税 | 22,223     |
| 法人税等調整額      | 3,564      |
| 少数株主利益       | 3,776      |
| 当期純利益        | 258,586    |

### ●連結キャッシュ・フロー計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで） （単位：千円）

| 科 目                     | 金 額       |
|-------------------------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | 785,469   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | △ 265,489 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | △ 362,723 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額        | —         |
| 現金及び現金同等物の増減額<br>（△は減少） | 157,256   |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 950,294   |
| 現金及び現金同等物の期末残高          | 1,107,550 |



## ●連結株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

|                          | 株主資本    |         |         |          |             | その他の包括利益累計額          |                       | 少数株主<br>持 分 | 純資産<br>合 計 |
|--------------------------|---------|---------|---------|----------|-------------|----------------------|-----------------------|-------------|------------|
|                          | 資 本 金   | 資本剰余金   | 利益剰余金   | 自己株式     | 株主資本<br>合 計 | その他<br>有価証券<br>評価差額金 | その他の<br>包括利益<br>累計額合計 |             |            |
| 前期末残高                    | 800,000 | 300,000 | 564,424 | △ 11,769 | 1,652,654   | △ 556                | △ 556                 | 31,031      | 1,683,128  |
| 当期変動額                    |         |         |         |          |             |                      |                       |             |            |
| 剰余金の配当                   |         |         | △21,300 |          | △21,300     |                      |                       |             | △21,300    |
| 当期純利益                    |         |         | 258,586 |          | 258,586     |                      |                       |             | 258,586    |
| 自己株式の取得                  |         |         |         | △ 39     | △ 39        |                      |                       |             | △ 39       |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額 (純額) |         |         |         |          |             | 9,788                | 9,788                 | 5,776       | 15,565     |
| 当期変動額合計                  | —       | —       | 237,285 | △ 39     | 237,246     | 9,788                | 9,788                 | 5,776       | 252,811    |
| 当期末残高                    | 800,000 | 300,000 | 801,709 | △ 11,809 | 1,889,900   | 9,232                | 9,232                 | 36,807      | 1,935,939  |

## ■財務諸表 (要旨)

## ●貸借対照表 (平成23年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目           | 金 額       |
|---------------|-----------|
| 資 産 の 部       |           |
| 流 動 資 産       | 5,506,649 |
| 固 定 資 産       | 2,898,548 |
| 有形固定資産        | 2,467,119 |
| 無形固定資産        | 27,620    |
| 投資その他の資産      | 403,808   |
| 資 産 合 計       | 8,405,198 |
| 負 債 の 部       |           |
| 流 動 負 債       | 5,302,450 |
| 固 定 負 債       | 1,259,965 |
| 負 債 合 計       | 6,562,416 |
| 純 資 産 の 部     |           |
| 株 主 資 本       | 1,830,865 |
| 評価・換算差額等      | 11,916    |
| 純 資 産 合 計     | 1,842,782 |
| 負 債 純 資 産 合 計 | 8,405,198 |

●損益計算書 (平成22年4月 1日から  
平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目        | 金 額        |
|------------|------------|
| 売上高        | 11,308,890 |
| 売上原価       | 8,521,833  |
| 売上総利益      | 2,787,056  |
| 販売費及び一般管理費 | 2,480,131  |
| 営業利益       | 306,925    |
| 営業外収益      | 141,211    |
| 営業外費用      | 90,433     |
| 経常利益       | 357,702    |
| 特別利益       | 4,847      |
| 特別損失       | 80,830     |
| 税引前当期純利益   | 281,719    |
| 法人税等合計     | 11,843     |
| 当期純利益      | 269,875    |



## ■会社情報

### ●会社概要 (平成23年3月31日)

|     |                   |
|-----|-------------------|
| 商号  | 株式会社ヤマウ           |
| 本社  | 福岡市早良区東入部五丁目15番7号 |
| 創業  | 昭和28年10月          |
| 設立  | 昭和33年2月           |
| 資本金 | 8億円               |
| 代表者 | 代表取締役 権藤 勇夫       |
| 従業員 | 233名              |

### ●会社役員 (平成23年6月29日)

|         |        |
|---------|--------|
| 代表取締役社長 | 権藤 勇夫  |
| 専務取締役   | 中村 健一郎 |
| 常務取締役   | 伊佐 寿起  |
| 取締役     | 小嶺 啓藏  |
| 常勤監査役   | 平野 貞義  |
| 監査役     | 長野 紘一  |
| 監査役     | 加納 硬   |

### ●事業所 (平成23年6月29日)

|     |   |
|-----|---|
| 営業所 | 福岡中央、福岡東、久留米、北九州、佐賀、唐津、大分、大分北、宮崎、延岡、高鍋、都城、日南、鹿児島中央、鹿児島北、鹿屋、霧島 |
| 工場  | 福岡、北九州、佐賀、大分、川南、高崎、鹿児島  |

### ●主な子会社 (平成23年6月29日)

|                 |  |
|-----------------|--|
| 九コン販売(株)        | コンクリート製品仕入販売事業                                 |
| メック(株)          | コンクリート構造物の点検・調査業務、補修・補強設計業務、補修工事業務、補修・補強材料販売業務 |
| 光洋システム機器(株)     | 情報機器の開発・販売及び保守並びに環境関連商品の販売                     |
| 大分フジ(株)         | コンクリート製品製造・販売                                  |
| (有)ヤマウ・アサヒ      | 鉄筋加工事業   |
| (株)ヤマウトラスト      | 製造業務請負事業                                       |
| クリエイティブ・モールド(株) | コンクリート製品用型枠の製造・販売並びに改造・修理                      |
| 宮崎プレコン(株)       | コンクリート製品製造・販売                                  |



▲高崎工場



▲鹿児島工場

## ■株式情報

### ●株式の状況 (平成23年3月31日)

|              |             |
|--------------|-------------|
| 会社が発行する株式の総数 | 22,024,000株 |
| 発行済株式の総数     | 7,506,000株  |
| 株主の総数        | 622名        |

※第1回優先株式を含みます。

### ●普通株式所有者別状況 (平成23年3月31日)

|        |             |       |
|--------|-------------|-------|
| 金融機関   | 12名1,449千株  | 26.3% |
| その他の法人 | 62名 893千株   | 16.2% |
| 個人・その他 | 547名3,164千株 | 57.5% |

## ■株主メモ

|                        |   |
|------------------------|---|
| 事業年度                   | 4月1日～翌年3月31日  |
| 期末配当金受領株主確定日           | 3月31日   |
| 中間配当金受領株主確定日           | 9月30日   |
| 定時株主総会                 | 毎年6月  |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社   |
| 同 連 絡 先                | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>Tel. 0120-232-711 (通話料無料) |
| 公 告 掲 載 方 法            | 日本経済新聞  |

### 〈ご注意〉

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ヤマウ|

検索



株式会社



福岡市早良区東入部五丁目15番7号

<http://www.yamau.co.jp/>